

# 寺崎組新聞

第四百十七号

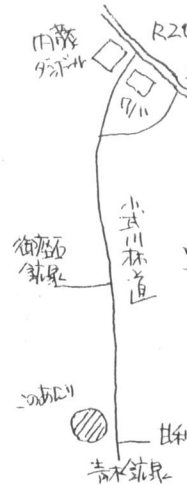
### 令和六年度 集會地

#### 五月三日(金)～五日

#### 山梨県韭崎市

#### 武川林道

#### コバエス 駐車場



#### 七月十三日(土) 集會

#### 群馬県みなかみ町

#### 奥平湯島の遊神館

#### 駐車場



#### 九月十四日(土) 集會

#### 福島県いわき市

#### 好間ススキまつり

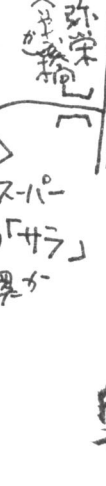
#### 駐車場



### 十二月十六日(土) 集會

#### 岐阜県中津川市坂下

#### 道の駅「きらり坂下」



### 十二月二十一日(土) 集會

#### 山梨県韭崎市

#### 御座石鉾山下



### 令和七年 三月二十二日(土) 集會

#### 静岡県森町

#### 新東名森掛川インター

#### 駐車場



車の参加可  
参加費 5,000円  
お金の持ち込み  
参加費 5,000円

## 経験値アップには、 トライあるのみ！ 伊那松川組会

205回組会報告

十一月十八日(土)  
二年ぶりの南信エリアでの組会だ。この地で隠遁生活を送っている身としては、遠方から訪ねて来てくれる友人を迎えるような感謝の念と、半年ぶりに仲間と会えるワクワク感を持って集合場所である中央高速松川インターに向かった。

この日は伊那谷に雪の予報が出ていた。到着した組員たちも「峠で雪に降られて往生した」「寒さと睡魔に負けそうになりながらも何とかたどりついた」などと伊那谷侵攻の苦労を口にしてる。

母校の校歌に「都の塵も通い来ぬ」と歌われる。南・中央アルプスに囲まれた伊那谷は安定した気候が特徴だが、入り込むには高地の通過が必須だ。ちなみに高校時代の私は校歌斉唱の際、「塵」を「女」と歌い変えるようなクソガキだった。

るだろうし、下りは大の苦手だ。進むも地獄、引くも地獄。「天は我を見放した」と叫ぶ直前、組長が登山者の休憩用広場に皆を導き「今日はここまでだな」と宣言した。



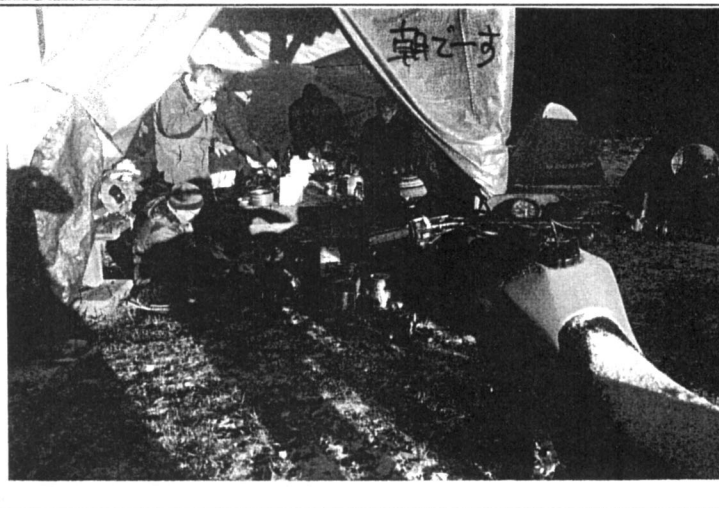
雪の東屋トカー用いキャンピング

広場の東屋の柱にブルーシートを張り、待望の宴会が始まった。私は頂きものだが自宅では焼けない「クサヤの干物」をウケ狙いで持ち込んだのだが、誰も悪臭に反応してくれない。酒は淡々と減って行くが、歌も絶叫もない。低温・雪道の疲れが、それとも明朝確実な凍結路走行への不安か。

雪の朝は太陽が差し込み暖かい朝会風景



この東屋は展望地に沿って、お山前が展望バック



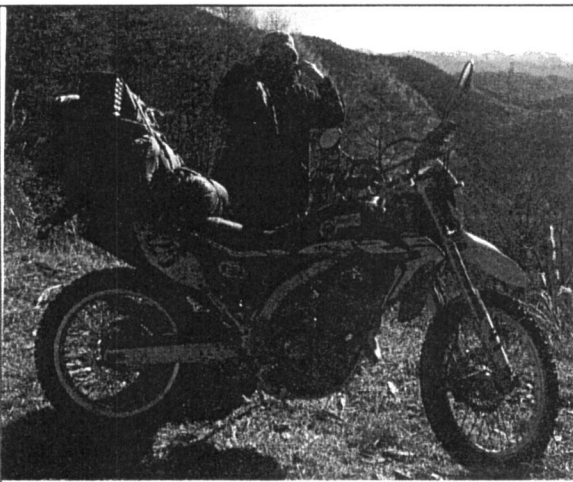
十一月十九日(日) 凍結した路面を見て早立ちを諦めた。管理人が車でやって来て「ここから上に進むのは、当分ムリ」と告げられた。で、152号線までソロソロ降りて標高が低く日当たりの良いコースを水平移動し、早退するひらりん氏を見送った後、高遠東城の林道での走りを楽しみ満喫した。



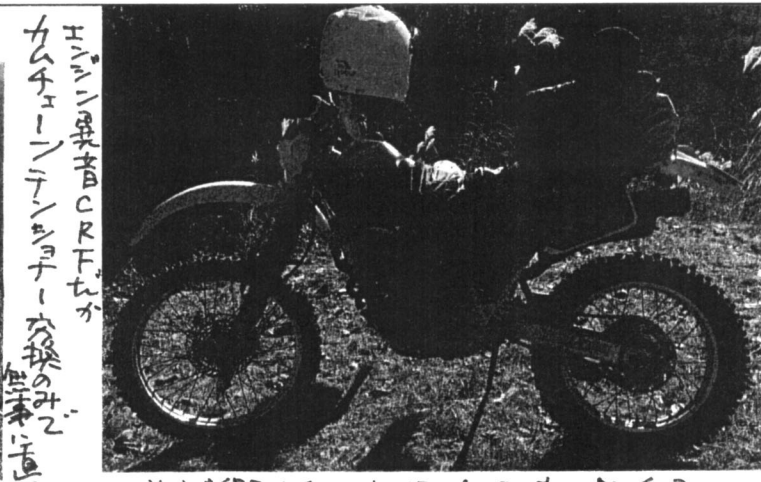
ナゾの組長バイクKL

一回リズムが狂うと後はグダグダとなり転倒の嵐、組会はバイク引き起こし互助会となった。晩秋の林道だが寒さなどまったく感じない。バイク起こしで汗だくになる。SKTの前、太ったのかよ！と悪態をつくが愛車は何も答えない。それでもなんとか尾根にたどり着くと、組長から「ここから下ったところ広い河原があるから、そこを野宿地にしよう」と提案があった。ムムツ、過程をすつ飛ばしていきなりゴールに言及するのはムチャ振りの証、というのはサラリーマン時代にいやといふほど体験したアルアルだが、まさかそれが？

う。泥跳ねで膝から下はびしょ濡れだ。道路の中央を、雨水が流れた縦溝が走っており、これが厄介者だ。せつかくノっていった走りのリズムを狂わされる。ここで転ばなかったのは組長ぐらいか。



キヤクCRF



この前組長が乗ったME06. ロッカーが乗る

斜角20度近い泥版ボブスレーコースのつづら折りを。さらに中央部は幅70センチ深さ50センチほどの川溝になっており両輪ハマったら自力脱出は不可能だ。やっかいなこと

「ここが今回の組会のハイライトだ。この原稿にその写真はないだろう。撮影する余裕があった参加者はいないだろうから。極悪路をなんとか下までズリ落ちてバイクを止め、後続にセクシオン攻略のアドバイスをするため徒歩で坂道を引き返す。ゴツイオフロードブーツが負荷とな



悪路の急坂下り 後の平和な川原キャンプ地

「ここが今回の組会のハイライトだ。この原稿にその写真はないだろう。撮影する余裕があった参加者はいないだろうから。極悪路をなんとか下までズリ落ちてバイクを止め、後続にセクシオン攻略のアドバイスをするため徒歩で坂道を引き返す。ゴツイオフロードブーツが負荷とな

「二月二十三日(土) 曇り 一日目のんびりと朝食を啜っている。品川ナンバー軽トラでいく到着。これを皮切りに、次々と組員集合。初日参加者は(敬称略)でいく。組長・沢海・ゴ三浦・地下鉄・杉山・村松岡・真二・ひらりん・カバ、そして最後にマルちゃん。マルちゃんこと宮澤さん

「二月二十三日(土) 曇り 一日目のんびりと朝食を啜っている。品川ナンバー軽トラでいく到着。これを皮切りに、次々と組員集合。初日参加者は(敬称略)でいく。組長・沢海・ゴ三浦・地下鉄・杉山・村松岡・真二・ひらりん・カバ、そして最後にマルちゃん。マルちゃんこと宮澤さん

「ここが今回の組会のハイライトだ。この原稿にその写真はないだろう。撮影する余裕があった参加者はいないだろうから。極悪路をなんとか下までズリ落ちてバイクを止め、後続にセクシオン攻略のアドバイスをするため徒歩で坂道を引き返す。ゴツイオフロードブーツが負荷とな



おどまどまのキャンプ地。今年雪なし

「二月二十三日(土) 曇り 一日目のんびりと朝食を啜っている。品川ナンバー軽トラでいく到着。これを皮切りに、次々と組員集合。初日参加者は(敬称略)でいく。組長・沢海・ゴ三浦・地下鉄・杉山・村松岡・真二・ひらりん・カバ、そして最後にマルちゃん。マルちゃんこと宮澤さん



例によって都度改定される宴会メニューですが、今回は「新たに誰か到着したら、一本解禁に追加!」。結局のところ、時間が来なくても飲み放題みたいで、皆、到着し寝床セット

「二月二十三日(土) 曇り 一日目のんびりと朝食を啜っている。品川ナンバー軽トラでいく到着。これを皮切りに、次々と組員集合。初日参加者は(敬称略)でいく。組長・沢海・ゴ三浦・地下鉄・杉山・村松岡・真二・ひらりん・カバ、そして最後にマルちゃん。マルちゃんこと宮澤さん



2日目の登場カバ。ゴ三浦に借りたME06を積んで

「二月二十四日(日) 曇りのち晴れ 二日目 明けて翌朝。当然ですが寒い寒い。今年は翌日帰る人が多い様です。撤回する人がほとんど。朝飯は昨日の続きの「無限ほうとう」!。温まるし野菜もたっぷり摂れるし、その上美味と言う事無し。問題は:材料がまだ2/3以上残っている事でしょうか。頑張り!連泊者! 三々五々、皆が帰路につきま

「二月二十三日(土) 曇り 一日目のんびりと朝食を啜っている。品川ナンバー軽トラでいく到着。これを皮切りに、次々と組員集合。初日参加者は(敬称略)でいく。組長・沢海・ゴ三浦・地下鉄・杉山・村松岡・真二・ひらりん・カバ、そして最後にマルちゃん。マルちゃんこと宮澤さん

「二月二十四日(日) 曇りのち晴れ 二日目 明けて翌朝。当然ですが寒い寒い。今年は翌日帰る人が多い様です。撤回する人がほとんど。朝飯は昨日の続きの「無限ほうとう」!。温まるし野菜もたっぷり摂れるし、その上美味と言う事無し。問題は:材料がまだ2/3以上残っている事でしょうか。頑張り!連泊者! 三々五々、皆が帰路につきま

「二月二十四日(日) 曇りのち晴れ 二日目 明けて翌朝。当然ですが寒い寒い。今年は翌日帰る人が多い様です。撤回する人がほとんど。朝飯は昨日の続きの「無限ほうとう」!。温まるし野菜もたっぷり摂れるし、その上美味と言う事無し。問題は:材料がまだ2/3以上残っている事でしょうか。頑張り!連泊者! 三々五々、皆が帰路につきま